

## 『統計検定 準1級 公式問題集』訂正表

(初版第1刷～4刷用)

## ●34 ページ [3] の解説の3行目 (初版第4刷で修正済み)

誤  $V(1.8\varepsilon_1 + \cdots + 1.8\varepsilon_{n-1} + 1.8\varepsilon_n)$ 正  $V(1.8\varepsilon_1 + \cdots + 1.8\varepsilon_{n-1} + 1.8\varepsilon_n)$ ※  $\varepsilon$  は下付きではない。

## ●92 ページ 2行目 (初版第4刷で修正済み)

右端の文字が消えていました。正しくは赤囲みのようになります。

 $V = C_1 \cup \cdots \cup C_m \cup H$  と分解でき、全員の成績の同時密度関数は

$$P(V) = P(C_1, \dots, C_m, H) = \prod_{i=1}^m P(C_i|H)P(H)$$

と分解できる。さらに、 $C_i$  の従う分布は  $H_i$  で条件付けると、 $H_i$  以外の  $H$  内の変数とは条件付け独立になるので、 $P(C_i|H) = P(C_i|H_i)$  と書き直せる。これより

$$P(V) = \prod_{i=1}^m P(C_i|H_i)P(H)$$

となり、各学級内の変数による部分  $P(C_i|H_i)$  および代表者集合のみによる部分  $P(H)$  に分解できるため、推定の計算も分解でき、計算量が大幅に節約できる。このように効率的な分解ができるグラフィカルモデルは分解可能モデルとよばれる。

## ●124 ページ 問4 [2] の解説1行目 (初版第4刷で修正済み)

誤  $n \rightarrow \infty$ 正  $n_M \rightarrow \infty$ 

同2行目 (初版第4刷で修正予定)

誤  $N(p_M, p_M(1-p_M)/n)$ 正  $N(p_M, p_M(1-p_M)/n_M)$ 

## ●136 ページ5行目 (問1 [1] の解説「構造方程式より、」の下2行目) (初版第5刷で修正予定)

誤  $X_1 X_3 = \beta_{13} X_1^2 + \beta_{23} X_1 X_2 + X_1 \varepsilon_2$ 正  $X_1 X_3 = \beta_{13} X_1^2 + \beta_{23} X_1 X_2 + X_1 \varepsilon_3$

●137 ページ4行目（問1〔3〕の解説）（初版第4刷で修正済み）

誤  $\varepsilon 2$

正  $\varepsilon 3$

●137 ページ下から2行目（問1〔3〕の解説）（初版第4刷で修正済み）

誤  $E[X_2 | Z=1] = -0.8$

正  $E[X_2 | Z=0] = -0.8$

●140 ページ 問2〔2〕（1）の解説（初版第4刷で修正済み）

誤 「 $x_{1t}$ 」 「 $x_{2t}$ 」（8箇所）

正 「 $x_{t1}$ 」 「 $x_{t2}$ 」（問題文と揃える）

●225 ページ 問13〔2〕（2）の解説1行目（初版第4刷で修正済み）

誤 500 (ht)

正 500 (ha)

以上